

| 病院長 | 地域医療連携部長 | 看護部長 | 事務部長 | 医療連携室課長 | 医療連携室 |
|-----|----------|------|------|---------|-------|
| | | | | | |

2025年度 第2回地域医療支援運営委員会議事録

日時 2025年8月28日(木) 14:00~15:00

場所 藤田医科大学岡崎医療センター大会議室2 / ハイブリッド形式

司会 小田 翔亮

出席者 【院外】(Zoom)田那村 収、升川 浩子、大島 陽太(代理)

(来訪)相川 美代子、加藤 政幸、加藤 武嗣、大野 直也(代理)、山本 秀幸

【院内】鈴木 克侍、小島 菜保子、越村 公宣

欠席者 【院外】織田 盛久、青木 裕明、片岡 博喜、松坂 禎文、稲垣 和人

【院内】碓氷 章彦

(敬称略)

1. 開会

・鈴木病院長より挨拶

今年に入り、当院の平均在院日数は10日となった。そのことから満床による救急車不応需を減らすことができた。昨年は120件の不応需があったが、現時点で10件程度である。

今後は後方連携を強化し、急性期病院としての役割を全うし、地域貢献に努めていく。

・新委員より挨拶

幸田町福祉相談部 参事 相川美代子

2. 当院からの報告(資料①)

・資料①の通り

前方/後方連携の実績、共同利用の実績、救急医療提供の実績、地域の医療従事者に対する研修活動、当院からのお知らせを報告。(鈴木)

3. 各委員からご意見ご要望等

【愛知県医師会 理事 田那村 収】

全国9月末より、スマホにてマイナンバーカードを掲示できるシステムが開始されるとのこと。7月に知人クリニックの院長へお話を伺ったところ、0.3%程度の利用率であり、浸透されていない印象であった。小児科に関しては、スマホ1人1台しか認証できないため、子どもさんの認証は恐らく不可能。今後、現在のマイナンバーカード読み取り機に外付けするような形となるが、喫緊で導入する必要性はないと考える。日本医師会からも取り扱えない旨のポスターを用意しているため、各施設にて掲示いただきたい。

コロナが増えてきている。重症化している例は少ない印象。今週から学校が始まったため、沈静化するのに時間を要するのではないかと危惧している。

→当院でもマイナンバーを積極的に推奨しておりますが、30%程度の普及率である。引き続き推奨していく。コロナに関して、現在10人入院している。先週は1人であったが、急増し

ている。引き続き、院内でも感染がひろがらないよう注意していく。(鈴木)

【岡崎市医師会 理事 升川浩子】

共同利用について、開放型病床利用増加に今後力を入れていくとのことですが、近隣医療機関への訪問や案内等何か考えているのか。

→今年の1大テーマである。医師同行訪問を通して案内する活動等、積極的に行っていく。

(鈴木)

【岡崎歯科医師会 副会長 大島陽太】

地域連携登録医について、現在85人で私が専務であった際は70人程度と記憶している。増加傾向であり、我々歯科医師会としてもさらなる増加に協力していきたい。しかしながら、現在登録している医師について、歯科医師会として関与できていないため把握できていない。可能であれば、歯科医師登録医の詳細を教えてください。

→詳細については医療連携室よりお知らせさせていただく。(鈴木)

【幸田町福祉相談部 参事 相川美代子】

健康課にて住民健診や人間ドックを行っている。幸田町で人間ドックの申し込み件数は令和6年度で3,054人。年齢別で39歳以下は147人、40-74歳で1,861人、75歳以上で1,046人の申し込みがあった。その内、10-12%がE判定となっており、岡崎医療センター等へ受診となっていると考察する。住民健診では胃がん検査を嫌がる方が多く、特に高齢者においてはバリウムを嫌がる傾向。それに伴い、当日キャンセルが多くみられる。昨年では約600人のキャンセルがあった。今後、75歳以上の方が増えていく中で、喫緊の課題として健診の必要性等しっかり啓発していく。

→健診にて異常が見つかった際には、幸田町内のクリニックへ受診いただきたい。より精密な検査等が必要となった患者さんについては、紹介状を持参し当院等へ受診するよう案内いただきたい。(鈴木)

【岡崎学区総代会 会長 加藤政幸】

職場体験について、多くの学校を受け入れていただきありがとうございます。学生さんの中には「楽しい、楽しい。」と帰ってくるのが多くあり、まるでお客さんのような扱いです。しかし、本来は「大変だけど、楽しかった。」とやりがいを感じられることが大事である。今後はそのような対応をしていただきたい。

えきなんフェスタについて、何度か開催しており、その都度ご参加ご協力いただきありがとうございます。1年に2回開催します。参加者も増えてきており、今後はぜひとも岡崎警察、岡崎消防に参加いただけるとありがたい。

夏祭りについて、看護師の派遣ありがとうございます。また、お祭りを楽しみに岡崎医療センターのスタッフの方が来ていただいたことがとても嬉しく感じる。今後も地域住民と行政、病院全体で地域の活性化ができたらと思う。

→学生への厳しい指導も視野に入れ対応していく。地域行事への参加については、引き続き積極的に対応していく。先日8月2日(土)に行われた岡崎市の花火大会では、当院から業務外で50人参加した。そのように地域の催しには業務だけでなく、楽しむために積極的に参加していきたい。(鈴木)

【岡崎警察署 署長 加藤武嗣】

検視について、徐々に対応を拡げていただき感謝している。立地からみてもかなり近く。ご遺族の負担軽減となっております大変助かっている。引き続きご協力いただきたい。

特殊詐欺について、受付会計前で放送いただきとても目に入りやすい場所で啓発につながるかと思う。愛知県内では非常に多く特殊詐欺が発生している。特に高齢者の方が多く被害にあわれている。病院内でも多く高齢者の方がみえるということで、この啓発活動に快諾いただきご協力いただいたこと感謝しかありません。引き続きご協力いただき発生件数等なくしていけたらと思う。

→今後、検視対応の件数が増えるよう対策していく。防犯動画について、我々も啓発活動に寄与できること大変嬉しく思う。引き続き、この他にも啓発資料等あれば依頼いただけたらと思う。協力させていただく。(鈴木)

【岡崎市東消防署南分署 署長 大野直也】

日頃より、救急車の受入れおよび研修等ご対応いただきありがとうございます。

本日、南分署にて7件の搬送依頼があった。うち数件は岡崎医療センターへ搬送となっているかと思う。南分署は位置的な問題から、1日15件ほどの救急依頼がある。多いときで20件ほど。所属の救急隊員はかなり疲弊している。南分署には消防車、はしご車と複数の車輛を保有しておりますが、稼働できていないのも実情である。今後、岡崎医療センターにてドクターヘリの訓練が行われると伺っている。そこでは、ぜひとも省力化を図った訓練にご協力いただきたい。

→東消防署南分署は市内の中で最も出動件数が多い分署と伺っている。当院へたくさん搬送いただいているのも確か。当院救急科へも南分署からの搬送は全て受け入れるよう伝えてある。距離も近いため効率化を図り、救急隊員はもちろんお互いに負担軽減できたらと思う。ドクターヘリについて、対応時には消防車および救急車の出動や公園内の砂地に水を撒き砂が舞い上がらないよう対処いただいている。公園内に配置される人員等、省力化に協力していく。(鈴木)

【幸田町消防本部 消防長 山本秀幸】

日々の救急搬送で岡崎医療センターへ搬送しない日はないと感じている。

本日正午、岡崎市東消防署南分署に応援いただきました。当署にて3台の救急車が出払ってしまった中でのご支援、感謝申し上げます。幸田町では1日7.5件の救急依頼がある。将来的にはもう1台の救急車を用意出来たらと思う。職場体験について、以前私が役場にて対応していた際、1年目では仕事の内容だけを説明していた。学生からの評価はあまり良くなかった記憶がある。2年目では反省を踏まえ、現場での測量や図面作成、設計等を体験させたところ評価がとても良かった。このことから、実働を体験させることがとても大事だと感じた。地域交流について、幸田消防では毎年開催している「消防ひろば2025」が2025年10月4日(土)に開催する。岡崎医療センター小島看護部長筆頭に、愛知県看護協会、理学療法士協会、栄養士会の協力のもと、まちの保健室をひらいている。幸田町内の健康増進等、地域住民への啓蒙活動にご協力いただいている。来年、令和8年度で幸田町消防本部が創設50周年を迎える。関連の催しを企画しているためぜひともご参加いただきたい。

→当院への幸田町からの救急搬送は60%近くであります。100%受け入れるよう救急科へ伝えてある。しかしながら、幸田町はかなり広いため、場所によっては搬送時間が多くかかる。当院としても救急隊員の負担を軽減するため、搬送距離を考えながらできる限り受

け入れていきたい。「消防ひろば 2025」について、協力できることがあるのであれば、病院をあげて参加していくことを検討する。(鈴木)

【補足】

幸田町消防本部 次長兼消防署長 吉田 孝正より幸田町消防の実績等について報告
令和6年度全体で1,870人の救急搬送。うち1,284人を岡崎医療センターへ搬送。
令和7年度直近までで1,160人の救急搬送。うち789人を岡崎医療センターへ搬送。
5~6割を岡崎医療センターへ搬送している。中でも軽症患者の搬送は、789人のうち428人であった。全体の54%を占めている。今後は、救急車の利用方法等啓発活動を行っていく。熱中症対策についても、三河湾ケーブルテレビを通じて広報活動をしている。可能であれば岡崎警察署同様に受付会計前のモニターへ放送いただきたい。
→承知した。詳細については事務部長へ依頼いただきたい。(鈴木)

4. 閉会

- ・次回以降の開催予定日は以下の通り

2025年度第3回地域医療支援運営委員会 2025年11月27日(木) 14:00~15:00

以上

文責：小田